

令和5年度研究計画

1 研究主題

生徒が主体的に学び、思考力・判断力・表現力等を育む授業づくり
～「読み取る活動」「書く活動」を位置付けた学習過程の工夫を通して～

2 研究主題設定とねらい

本校は学校教育目標である「夢と誇りをもち、自ら学び、仲間とともに伸びる生徒の育成」を目指して教育活動を行っている。学校目標実現のために、学習面では目指す生徒像として「自ら学び、共に高め合う生徒」を掲げている。

昨年度は、学習面の目指す生徒像のなかでも「主体的に授業に参加する生徒」「自分で資料から必要な情報を読み取る生徒」を重点目標として活動した。「主体的に学ぶ生徒の姿」について、「自分から、自己の目標に向かって学ぼうとする姿」や、「自分から、自らの課題を解決しようとする姿」を目指すことを確認した。また、取組として、「ライティングタイム」（自分の考えを書く時間）に引き続き取り組む（3年目）とともに、新たに「読み取りタイム」を設定した。具体的には、朝の時間を「読み取りタイム」と位置づけ、認知機能強化トレーニングのドリルに取り組ませた。また、授業の中でも「必要な情報を読み取る力」や「読解力」を向上させるための時間を「読み取りタイム」として教科横断的に取り入れた。

今年度は、「思考・判断・表現力」の育成を中心に据え、「読み取る活動」と「書く活動」のより効果的な実施方法について検討し、質的な向上を図りたい。（佐賀県小・中学校学習状況調査の分析結果から）具体的には、「根拠をもとにして（読み取った情報を使って）説明することができる」ことに重点をおき研究していくこととする。取組として、朝の読み取りタイム（認知機能強化トレーニング）に引き続き取り組み、その課題や実施方法を検討しながら工夫・改善していく。また、生徒が「説明できる」姿は、一人一人が自分の考えをもち、書いたり、他者と対話しながら自分の考えを広げたり、深めたりしている姿である。この生徒の姿を各教科の授業の中で見るできるように、各教科での授業づくりを工夫・改善していきたい。佐賀県教育委員会が提示している「授業づくりのステップ123」を基盤として、主体的な学び（目標に向かって自ら課題解決に取り組む生徒の姿）の実現に向けて、「読み取りタイム」と「ライティングタイム」を関連付け、生徒が学びの実感を得られるものにしたい。このようなことを通して、本研究主題「生徒が主体的に学び、思考力・判断力・表現力等を育む授業づくり～「読み取る活動」「書く活動」を位置付けた学習過程の工夫を通して～」に迫ることとする。

3 研究組織

<p style="text-align: center;">【研究推進委員会】</p> <p>(校長先生、教頭先生、教務主任、研究主任、 学力向上コーディネーター、ICT推進リーダー)</p>	<p style="text-align: center;">【学力向上対策委員会】 全職員</p> <p>・教師の授業力向上 「授業の基礎・基本」の徹底 学習環境の整備</p> <p>・生徒の学力向上 知識・技能の定着への取組 家庭学習の充実</p>
<p style="text-align: center;">【校内研究会】全職員</p> <p>・生徒が主体的に学ぶ授業づくりの在り方を検討し、実践することで、読み取った情報をもとに自分の考えを書いたり、説明したりすることができる生徒の育成を目指す。</p> <p>・ICT機器の活用方法の研究</p>	

4 研究の内容と方法

(1) 研究の内容

- ① 主体的に学ぶ生徒の姿を授業実践の中で実現し、「思考・判断・表現力」を育成するための「読み取りタイム」「ライティングタイム」を学習過程に位置付けた授業改善についての具体化を図る。
- ② 朝の「読み取りタイム」の効果的な形で実施方法の工夫・改善。生徒の取組に対する理解を促し、授業の読み取りタイムと関連付ける。

(2) 研究の方法

- ① PDCA サイクルを推進し、組織的に行う。
- ② 授業研究会を年間計画に位置付け、計画的に行う。
- ③ 授業参観シートを作成し、それを使って相互参観し、教科横断的に意見交換を行う。
- ④ 単元(題材)アンケートを実施し、取組の有効性を評価し、工夫改善に生かす。

5 研究日程(検討)

校内研究会	学力向上対策委員会
4月5日 研究構想・研究計画提案 (読み取る力育成の全体像の確認) 「授業づくりのステップ123」セルフチェック	4月19日 「授業の基礎・基本」の確認 学習環境の確認(教室掲示物・置き道具) 「授業づくりのステップ123」セルフチェック
4月19日 朝の読み取りタイムの方法についての検討 (体育大会が終わった次の週から実施予定)	6月8日 全国学習状況調査の分析、授業改善
8月 読解力の実態1次結果の共有 授業研究会(指導案検討)モデル構築 公開授業と授業研究会に向けて	9月20日 生徒の「知識・技能」を定着させるため の家庭学習や朝学習の取組について、工夫・改善
10月18日 読解力を養う「読み取る活動」におけるICT 機器活用に関する研修	11月 「授業の基礎・基本」の実態把握と今後の工夫改善
12月20日 読解力の実態2次結果の共有 朝の読み取りタイムの改善	1月 県学習状況調査の分析、授業改善
2月6日 研究のまとめ、来年度の計画・見通し	2月 授業づくりのまとめ

6 期待する研究の成果

- 授業スタイルの統一や学習環境の整備、全校一斉の「ライティングタイム」や「読み取りタイム」の取組みを実践することで、すべての生徒が学習に集中しやすくなる。
- 学びの基礎となる「読解力」「自分の考えを書く力」「資料から必要な情報を読み取る力」を育成することで、各教科での学力定着を目指せる。
- ICT 機器活用に関する研修を増やし、授業に還元することで、学力定着や話し合いの高まりを目指せる。